

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		保健福祉審議会開催事業		担当課	社会福祉課
総合計画	政策	ひと		計画期間	平成10年度～
	施策	地域福祉の推進		種別	法定＋任意
	基本事業（取組）	施策の総合推進		市民協働	共催
予算科目コード		01-030101-05 単独	根拠法令・条例等	守谷市保健福祉審議会条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 審議会は、市長の諮問に応じ、保健福祉に関する事業の推進を図るため、次の事項について調査審議し、市長に意見を答申し、または助言する。 ○保健福祉事業、介護保険事業に係る計画及び施策に関する事項 ○保健福祉サービス、介護保険サービスの推進及び見直しに関する事項 ○子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）第72条第1項各号に掲げる事項 ○その他市長が必要と認める事項
保健福祉行政全般について、市長の諮問に応じ保健福祉に関する事業の推進を図ることを目的として設立、開始した。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
保健、福祉、介護保険事業の推進、計画及び制度の制定について適正な答申、意見を受け保健福祉行政の適正化及び向上を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
保健福祉施策を総合的に推進する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
保健福祉審議会は、保健福祉、介護保険事業の計画やサービス推進、制度について審議し、意見を提言し、福祉行政の適正化及び向上を図ることにあります。 審議分野が広範囲に渡るため分科会を設置し、詳細な審議を分科会で行うことで効率よく審議会の運営がされていますので、特に改善の余地はありません。	特になし。
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
特になし。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度の取組（評価、課題への対応）
コロナ禍における会議開催が困難なため、5回開催の内3回を書面協議で実施した。また、新任委員研修会を開催することで、新任委員に対して各課所管の計画等の説明を行い、審議会での審議に役立てることができた。	第2期守谷市子ども・子育て支援事業計画の中間年見直しや、障がい者福祉に関するアンケート調査について協議するとともに、各種分科会での審議事項等の報告を受けた。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
審議会で協議された事項数（件）	7.00	7.00	5.00	7.00	6.00	3.00	0.00
審議会に報告された事項数（件）	24.00	24.00	14.00	24.00	26.00	20.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下	年度によって協議、報告案件数に変化があり、各分科会では適切に案件が審議され、審議会に報告されている。 保健福祉審議会委員の改選の年であった令和3年度に比較すると、協議事項等の案件数は減少しているが、各分科会で審議された内容等が適切に審議会に報告されている。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	保健福祉関係機関の代表者により慎重に協議・審議しており、これ以上の成果向上の余地は少ないため、維持とする。					

コストの推移						
項目		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込
事業費	計	631	754	638	945	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	631	754	638	945	0
正職員人工数（時間数）		449.00	305.00	240.00	0.00	0.00
正職員人件費		1,818	1,180	925	0	0
トータルコスト		2,449	1,934	1,563	945	0